

日蓮聖人門連だより

発行
日蓮聖人門連連合会
〒146-8544
東京都大田区池上1-32-15
電話(03)3751-7181

平成 29 年 10 月 13 日
第 56 号

本門法華宗管長就任挨拶

本門法華宗管長
大本山妙蓮寺第二百一十一世貫首

別所日山



有難うございます。

この度、三月十日の宗会で本門法華宗第二十代管長に就任しました。また、二月二十七日に、大本山妙蓮寺第二百一十一世貫首に推戴されました。

私は、日蓮聖人門下連合会の監査を平成二十八年度の決算まで、長きにわたる務めさせて頂きました。お陰様で、法華に係る多くの皆様と親しくなる機会を頂きました。今後も、顧問として全門連の理事会に出席できる栄を賜り大変嬉しく思っております。

本年は、本門法華宗にとってかけがいのない先達、松平金岳公子の百五十年遠忌に当り、御遠忌法要を門末一体となつて、四月

十二日に大本山妙蓮寺で執り行いました。

先般、門連だよりの紙面をお借りして、「東日本大震災慰霊練行」について報告いたしました。復興途上にある被災地の回向を今後も私のライフワークにして行く所存です。

今、価値観が多様化しています。仏も神も信じようとせず、世のうたかたに身を任せ、とりあえず目の前のことにのみ対処することが、あたかも人生であるかの様に思っている人達の多いこと。人を傷つけ、人を踏みにじり、自身の行いを覆い隠し、出来るだけ楽な方向を選ぼうとする。真実から目を逸らし、言い逃れをする。こころ痛む実情です。人の痛みを知り、自分の心に嘘偽りなく、人の喜びを己の喜びとするような人生観を何よりも大切にしたいと思っております。

私は、この様な世相だからこそ、「南無妙法蓮華經」の広宣流布の時だと信じてい

ます。

高祖曰く「法華經の行者は信心退転なく身に詐親なく、一切法華經に其身を任せて金言の如く修行せば、隨に後生は申すに及ばず、今生も息災延命にして勝妙の大果報を得、広宣流布の大願を成就すべきなり。と云々」

合掌

法華宗(本門流)管長就任挨拶

法華宗(本門流)管長
大本山本能寺第四百十世貫首



本年五月十三日に法華宗(本門流)の管長に就任しました。本門流には大本山が四ヶ寺あります。

静岡県沼津市 大本山 光長寺
千葉県茂原市 大本山 鷲山寺
京都府京都市 大本山 本能寺

法華宗(真門流)管長就任挨拶

法華宗(真門流)管長
総本山本隆寺第七世貫首

上田日猷



本年四月朔日晋山式挙行、第七世の法燈を継承いたしました。日蓮門下連合会の皆様には御交誼の程何卒よろしくお願い申し上げます。

時恰も「平成大改修事業」と称す、国指定重要文化財の総本山本堂・祖師堂の大工事が緒につき、今、豪壮な素屋根に覆われようとしています。事業の無恙と圓成を日々祈念させて頂いたことが第一の職務と肝に銘じています。

同じく、今、大変嬉しく思い、また期待している宗門内に芽生えた頼もしい力があります。昨年発足した法華宗真門流青年会で

桃井日英

兵庫県尼崎市 大本山 本興寺

四つの大本山があり、その四ヶ寺の貫首が輪番で管長を勤めます。今回は本能寺が当番ということで私が管長に就任することになりましたので宜しくお願い申し上げます。

先代の貫首さま(菅原日桑上人)が急逝し、私が急遽晋山したこともあって貫首として何をすべきかと思案する毎日です。その中で

昭和四十六年二月に日蓮聖人御聖誕七五〇年慶讃大法要が奉修されたことを思い出しました。あの時、私は

す。各地域に既存の組織があり、それぞれ素晴らしい活動をしていますが、それを尊重しつつ、宗門全体の青年僧が結集できる体制を整えました。その第一回目の結集事業として、本年第七回忌を迎えた東日本大震災殉難犠牲者の慰霊法要を被災地にて勤修いたしました。

六月二十一日夕刻、仙台に集結、決起大会を行いました。翌二十二日午前九時半、チャーター船にて塩釜港出港、松島港への約一時間の船旅にて海上法要を奉行。全国の檀信徒に勧募した追善供養のお題目の写経を捧げました。その後、たくさんの教職員、児童が犠牲となつた石巻市の大川小学校を訪れ、鎮魂の御回向をさせて頂いた頂きましたが、あまりにも無残な校舎の姿に言葉を失いました。青年僧各々にとつて大変意義深い結集大会でした。

社会情勢の変化は激しく、寺院、僧侶の向かう道は決して平坦ではないでしょう。しかし彼等が力を合わせれば自ずと開かれて行くであろうと実感しました。もちろん宗門のバックアップが求められます。先ずは二〇二一年の高祖大聖人御降誕八百年、続く二〇二七年の御開山日真大和尚五百遠忌への結束が期待されるところです。

從地ゆじゆつ

◆二十年以上前、本山へ帰るタクシーの中で運転手の方から声をかけられました。「あなたは日蓮聖人が女性だったことを知っていますか?」

◆私は腰が抜けるほど驚きました。朝から晩まで御書を拝読しながら日蓮聖人が女性とは思いませんでした。この一大事を一般の方から教えられるとは。頭が真っ白になりました。

◆しかし、老練な運転手さんは戸惑っている若僧を笑いながら言葉を繋ぎました。「そうでなければあれほど女性の心が分かるわけありませんよ。」

◆私は顔を赤らめながら深く納得しました。後世の者が性別を疑うほどズバ抜けた日蓮聖人の共感力。男性が女性を、女性が男性を、あらゆる人が他を思いやる世界。理想とする人間性の中心に日蓮聖人がおられました。あれから月日を重ねましたがお手本の尊さに比べて自身の至らなさばかり目立ちます。

◆異なる価値観を認め合い、対話を重ねてゆく大切さを痛感する現代。しかし「ダイバーシティ(多様性)」の尊重はアイデンティティを失うことではありません。「何でもあり」は「何も無い」と同じです。日蓮聖人は排他でも独善でもありません。同時に流される方でもありません。共感力とアイデンティティ。日蓮門下の者としてその深い慈悲と強い信心に学び、混乱する世界に向きあえるよう精進したいと思えます。(長)

【法華宗（本門流）】 宗派の活動

一天四海皆帰妙法の祖願成就にむけてお題目総下種運動に邁進している。混沌を極める現代において正しい教えを伝え、求めに応じる力を備えた僧侶を輩出できる環境づくりを行っている。近年の活動を紹介します。

則の精神に基づいて宗学の蘊奥を究め、人格を陶冶し、法燈相統の任に応える教師の養成を行っている。

■興隆学林専門学校新校舎・信行勸学院完成

法華宗（本門流）の僧侶養成機関である興隆学林専門学校（兵庫県尼崎市）の新校舎が平成二十六年に完成した。興隆学林専門学校は、亨徳三年（一四五四）門祖日蓮聖人が子弟教育の為に、兵庫県尼崎の大本山本興寺境内に創立した勸学院を起源とし、以来宗門の教師養成機関として給仕・修行・学問という当門の三



校舎外観



興隆学林校舎内御宝前

昭和に建築された学林の校舎は築四十年を迎え、阪神淡路大震災を経験、耐震強度に問題が生じたため耐震改築工事を行い、平成二十六年九月二十九日に平成の新校舎落成慶讃法要が

■教師養成特別講習会

この特別講習会は、寺院僧俗一体となって奉修された。学林昭和校舎の跡地には境内新堂宇「信行勸学院」が建立。信行勸学院は本山の諸行事に役立てられる施設を中心に、学生寄宿舎・浴室など学林生のための生活機能も置かれる。信行勸学院の名前の由来は、先述のように日蓮聖人の勸学院の名前を大事にし、法華経を信仰する中に修行があるという思いから、信行とした。学生は学舎とは別に寮生活も修行する場であると考え、信行勸学院という名前に至った。平成二十七年九月三十日、信行勸学院の落成慶讃法要が執り行われ、平成の学林新校舎着工から足掛け二年で大本山本興寺・興隆学林専門学校の建設整備事業が完成した。

■法華宗布教研修所発足

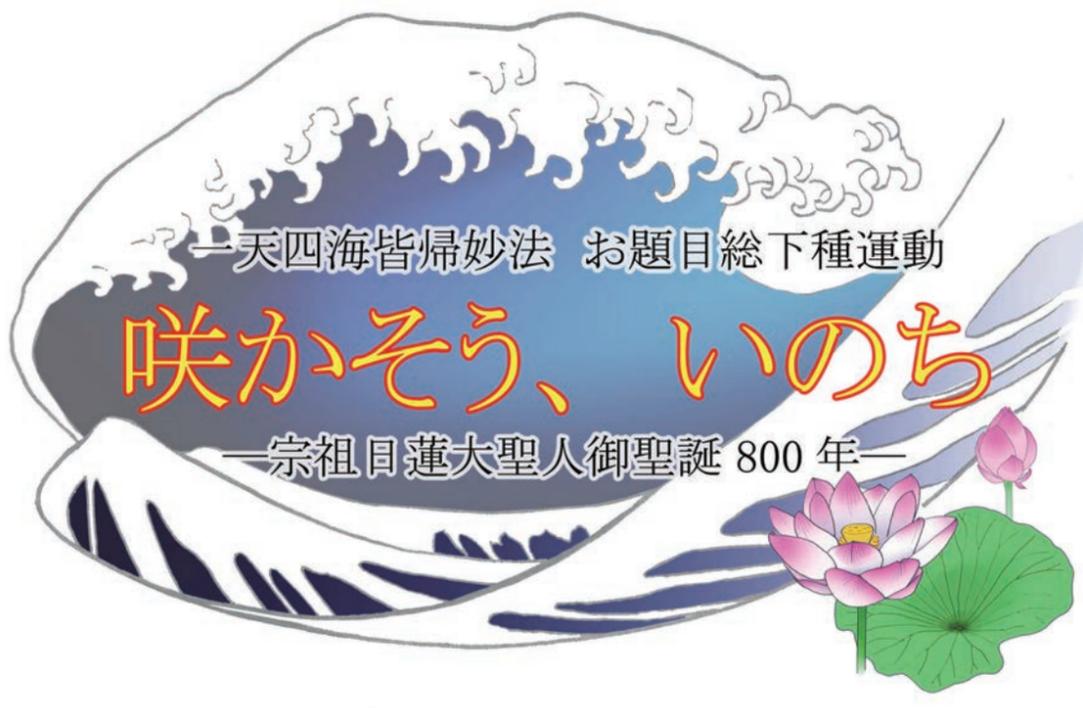
法華宗は学林を卒業、あるいは教師養成特別講習会を受講し布教の第一線に立つ僧侶の布教力の強化のため法話技術と法式作法の向上を目的とした法式作法研修会を継続してきた。布教師会（昭和六十年設立）は法話技術向上の機会提供、声明研修会（昭和六十三年設立）は法要作法の客観視から法要の荘厳さを増し、檀信徒の信心増進に寄与

■宗祖日蓮大聖人御聖誕八〇〇年にむけて

平成三十三年二月十六日、宗祖日蓮大聖人がお生まれになってから八〇〇年を迎える。この記念すべき聖年を迎えるに当たり、信心の内省、他者への働きかけという、この二つを実践する意識を高めるべく、法華宗は第六十九次宗会でスローガンを「咲かそう、いのち」に決定。このスローガンを中心に据え、上部には宗祖の念願であり当宗の大目標である「一天四海皆帰妙法お題目総下種運動」を、下部には宗祖が末法の世に生まれ出でてから八〇〇年の月日を経ることを「宗祖日蓮大聖人御聖誕八〇〇年」と表記した。

教会の設立や教線の拡大を目指すし、または住職担任を助け、寺院の護持発展に資する教師の育成を目的としておよそ四年に一度開催している。今回で十七回を数え、十一名の参加を得て、第一期は大本山鷲山寺（千葉県茂原市）を会場に十月一日から六日まで、第二期は大本山本興寺（兵庫県尼崎市）を会場に十一月四日から九日まで、第三期は大本山光長寺（静岡県沼津市）を会場に二月十六日から二十一日までの日程で開催し、教師資格を叙任した。限られた時間の中で全てのことを会得するのは難しいが、年齢・性別・受講動機が異なる受講生全員がひたむきに努力し、また助け合いながら所定の教科の修得に励む姿は伝道の担い手としてこれからの宗門に心強く感じられた。

し作成。宗祖が御聖誕なされた場所である小湊の海の波しぶきを命の躍動として表し、そして御聖誕の際の奇瑞の一つである蓮華を描いている（写真）。現在のデザインは宗内外の発行物に掲載し啓発を行っている。各布教機関でも御聖誕八〇〇年を意識した企画が立案されている現状である。宗務院においても宗報百三十五号の表紙にデザイン入りのスローガンを掲載、百三十六号の表紙から『慈愛』と題し、宗祖のお誕生をイメージした絵画を掲載している。現代は医学の進歩により出産は母子ともに健康、無事出産が当たり前の世の中になったが、出産が命を懸ける行為であることに変わりはない。生命の誕生に注がれる慈愛の心を色とタッチで表現している。慈しみの心は我が子に限らず、誰にでも注がれるものである。宗祖御聖誕八〇〇年を契機として益々、教化活動に邁進していきたい。



一天四海皆帰妙法 お題目総下種運動
咲かそう、いのち
宗祖日蓮大聖人御聖誕 800年

日蓮宗宗務院

管 長 内野日総 財務部長 中川法政
 宗務総長 小林順光 宗務総長室長 小林正雄
 伝道局長 中井本秀 現代宗教研究所長 三原正資
 総務局長 塩崎望巳 参 与 山口裕光
 伝道部長 松井大英 参 与 吉田海心
 教務部長 柘植海潮 日蓮宗新聞社社長 草ヶ谷秀人
 総務部長 川口智康

〒146-8544 東京都大田区池上一-三二-一五
 電話 〇三(三七五)七一一
 FAX 〇三(三七五)七一八六
<http://www.nichiren.or.jp>

法華宗(本門流)宗務院

管 長 桃井日英
 宗務総長 二瓶海照
 布教部長 金井孝顕
 総務部長 三吉廣明
 教務部長 清水常光
 財務部長 山田庸温
 企画部長 山田庸温

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町二一九-一
 電話 〇三(五六一四)三〇五五
 FAX 〇三(五六一四)三〇五六
<http://www.hokkeshu.or.jp>

顕本法華宗宗務院

管 長 山本日恵
 宗務総長 島田幸晴
 宗務次長 秋葉敬真
 布教部長 早川義正
 財務部長 湯原純勇
 庶務部長 津村乗信
 社会部長 藤本智成
 教務部長 湯原正純

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一
 電話 〇七五(七九二)七一一
 FAX 〇七五(七九二)七二六七

法華宗(陣門流)宗務院

管 長 門谷日悠
 宗務総長 西山英仁
 総務部長 牧野秀成
 教務部長 布施義高
 教化部長 松吉慶憲
 財務部長 金原孝宜
 企画部長 今井満良

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨五-三五-一六
 電話 〇三(三九一八)七二九〇
 FAX 〇三(三五七六)〇一一一

本門佛立宗宗務本庁

宗務総長 木村日覺
 宗務副総長 亀井日勲
 宗務副総長 西村日演
 教務局長 小西日事
 弘通局長 植田日将
 総務局長 小野日将
 広報局長 永江日盡
 財務局長 岡田日秀
 奉賛局長 藤本日唱
 センター特別局長 藤本日唱

〒602-8377 京都市上京区御前通一条上る東堅町一〇番地
 電話 〇七五(四六一)一六六代
 FAX 〇七五(四六一)五九九九

日蓮本宗宗務院

管 長 丹治日遠
 宗務総長 渡邊光顕
 総務総長 野津哉輪
 教務部長 佐藤勸行
 財務部長 工藤海淳
 主 事 藤海淳

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇寺町四四八
 電話 〇七五(七七二)三三九〇
 FAX 〇七五(七七二)五九一四

法華宗(真門流)宗務庁

管 長 上田日猷
 宗務総長 堀智泰
 総務部長 堀内浩善
 教務部長 峰尾泉栄
 教化部長 木田慧明
 社会部長 坂本法保
 財務部長 寺田良正
 参 与 木村完祥

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上ル紋屋町三三〇
 電話 〇七五(四四一)五七六二
 FAX 〇七五(四四一)五六六六

本門法華宗宗務院

宗務総長 香川日憲
 総務部長 増田隆雄
 宗務部長 吉村日彦
 財務部長 高邊晶啓
 教務部長 山下揮正
 庶務部長 松本真隆

〒602-8418 京都市上京区寺之内通大倉東入大本山妙蓮寺内
 電話 〇七五(四五二)三五二七
 FAX 〇七五(四五二)三五九七

宗教法人 国柱会

賽 主 田中壮谷
 理事長 原田義彦
 理事 森山真治
 門連理事 藤本坦孝
 門連常任理事 的場春奈
 〔門連だより〕
 編集委員

〒132-0024 東京都江戸川区一之江六一一九-一八
 電話 〇三(三五六)七二二代
 FAX 〇三(三五六)九九八〇
<http://www.kokuchukai.or.jp>

京都日蓮聖人門下連合会

会 長 伊丹日章
 副会長 福井日進
 理事長 橋本一妙
 副理事長 赤塚高明

京門連事務局
 〒606-8376 京都市左京区二条通川端東入大菊町九六
 頂妙寺布教会館内 日蓮宗京都府第一部宗務所内
 電話 〇七五(七六二)二四一一
 FAX 〇七五(七五二)九三三八

日本山妙法寺大僧伽

首 座 吉田行典
 責任役員 酒迎天信
 同 今井行康
 同 池田行朗
 同 二宮和嘉
 同 木津博充
 同 川岸行孝

日本山妙法寺大僧伽事務局
 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町八一七
 電話 〇三(三四六一)九三六三
 FAX 〇三(三四六一)九三六七

大阪日蓮聖人門下懇話会

理事長 佐藤哲夫 理事 福島正堯
 副理事長 佐野貫順 理事 木下真良
 理事・会計 松井英光 理事 末澤禎隆
 理事 門谷光瑞 理事 吉永義康
 理事 藤本経尚 理事 森田進
 理事 笹川行恒 理事 吉村日彦

〒530-0051 大阪府大阪市北区大融寺町六一十二
 電話 〇六(六三六)七六六四
 FAX 〇六(六三六)七六六四

日蓮宗総本山 身延山久遠寺

法主 内野日総
総務 井上瑞雄

〒409-2593 山梨県南巨摩郡身延町身延三五六七
電話 〇五五六(六二)一〇一一
FAX 〇五五六(六二)一〇九四

日蓮宗大本山 池上本門寺

貫首 菅野日彰
執事 金子元彦
役員一同

〒146-8576 東京都大田区池上一一一一一
電話 〇三(三七五)一三三三一
FAX 〇三(三七五)三三五〇

法華宗(本門流)大本山 本興寺

貫首 小西日遼
執事 清水常光
役員一同

〒606-0862 兵庫県尼崎市開明町三一一一三
電話 〇六(六四一)三三二七
FAX 〇六(六四一)二四三八

顕本法華宗総本山 妙満寺

貫首 山本日恵
執事 吉永義康
中村英司
湯原正純
土持悠孝
鹿野恒仁
足立幸謙
執事補 足立幸謙

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一
電話 〇七五(七九)七一一一
FAX 〇七五(七九)七二六七

法華宗(陣門流)総本山 本成寺

奉安門下最古一尊四土御本尊
平成二十九年は開創七二〇年です

貫首 門谷日悠
執事 笹原壯玄
山務員一同

〒955-0845 新潟県三条市西本成寺一―一―二〇
電話 〇二五六(三三)〇〇〇八
FAX 〇二五六(三三)〇〇五九

法華宗(真門流)総本山 本隆寺

貫主 上田日猷
執事 本多信正
永岡悠希
足立真正
執事補 笹木研吾

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上ル紋屋町三三〇
電話 〇七五(四四二)五七六二
FAX 〇七五(四四二)五六六六

本門法華宗大本山 妙蓮寺

貫首 別所日山
執事 音羽隆全
役員一同

〒602-8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東入妙蓮寺前町八七五
電話 〇七五(四五二)三五二七
FAX 〇七五(四五二)三五九七

多寶富士山 本山要法寺

貫首 丹治日遠
執事 渡邊光顕
野津哉輪
佐藤勸行
工藤海淳

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇寺町四四八
電話 〇七五(七七二)三三九〇
FAX 〇七五(七七二)五九一四

本門佛立宗本山 宥清寺

住二十六世講有 高須日良
執事 白石日是
事務局長 奥順作

〒602-8336 京都市上京区二条通七本松西入滝ヶ鼻町一〇〇五一
電話 〇七五(四六三)四六二〇(代)
FAX 〇七五(四六三)四六五一

京都八本山会

会本・本山 本満寺 貫首 伊丹日章
大本山 本閉寺 貫首 伊藤日慈
大本山 妙顯寺 貫首 三田村日正
本山 立本寺 貫首 上田日瑞
本山 妙傳寺 貫首 野々垣日祐
本山 頂妙寺 貫首 安藤日瑛
本山 妙覺寺 貫首 及川日周
本山 本法寺 貫首 瀬川日照

京都 法華門流懇話会

顕本法華宗 総本山妙満寺 貫首 山本日恵
法華宗(真門流) 総本山本隆寺 貫主 上田日猷
法華宗(本門流) 大本山本能寺 貫首 桃井日英
本門法華宗 大本山妙蓮寺 貫首 別所日山
日蓮正宗 本山要法寺 貫首 丹治日遠
本門佛立宗 本山宥清寺 講有 高須日良
法華宗(陣門流) 本山本禪寺 貫主 福井日進
顕本法華宗 本山寂光寺 貫首 大川日仰

日蓮宗大本山 清澄寺

別当 二宮日敬
執事 宮崎雅宣
役員一同

〒299-5505 千葉県鴨川市清澄三二二二一
電話 〇四(七〇九四)〇五二五
FAX 〇四(七〇九四)〇五二七
団参には是非、研修会館をご利用ください。
一六〇名様まで可。

宗祖御降誕靈場 日蓮宗大本山 誕生寺

宗祖御降誕八百年に向かつての祈り

貫首 石川日命
執事 角濱監鏡

〒299-5501 千葉県鴨川市小湊一八三
電話 〇四(七〇九五)二六二一
FAX 〇四(七〇九五)二〇五五

日蓮宗霊跡本山 比企谷妙本寺

比企谷 妙本寺

〒248-0007 神奈川県鎌倉市大町一―一五―一
電話 〇四六七(二二)〇七七七
FAX 〇四六七(二二)六九六七

日興上人御聖廟 日蓮宗大本山 富士山法華本門寺根源

貫首 旭日重
執事 川名義顕
与 吉田日綱
与 井野上正文

〒418-0112 静岡県富士宮市北山四九六五
電話 〇五四四(五八)一〇〇四
FAX 〇五四四(五八)〇三〇三

日蓮宗大本山 中山法華経寺

貫首 新井日湛
与 田代浩敬
与 植田観樹
与 松本慈恵
与 関本観亮

〒272-0813 千葉県市川市中山二―一〇―一
電話 〇四七(三三四)三三三三
FAX 〇四七(三三四)一七九六

やくよけ祖師 日蓮宗本山 堀之内妙法寺

山主 山田日潮

〒166-0013 東京都杉並区堀之内三一四八―八
電話 〇三(三三三)六二四一
FAX 〇三(三三三)五〇〇七

日蓮門下お題目初唱之霊場 日蓮宗本山東身延 藻原寺

貫首 持田日勇
総務 増田寶泉
執事 富永一道
執事 中川貫泰

〒297-0026 千葉県茂原市茂原一―二〇―一
電話 〇四七五(二二)三一五三
FAX 〇四七五(二二)一一七三

徳川家康公報恩創建 日蓮宗由緒寺院 瑞輪寺

除厄安産飯匙の祖師・七面大明神奉安
貫首 井上日修
執事 稲荷泰雅

〒110-0001 東京都台東区谷中四―二―一五
電話 〇三(三八二)四三七三
FAX 〇三(三八二)七〇三三

平成三十三年二月十六日は
宗祖御降誕八百年を
迎えます



門連時報

祖廟参詣及び身延理事会開催さる

平成二十九年七月七日(金)、日蓮宗総本山身延山久遠寺で、「日蓮聖人門下連合会祖廟参詣・身延理事会」が開催され、全国日蓮聖人門下連合会顧問・常任理事・理事・監査・大阪門下懇話会理事長など二十六名が参列した。

午前十一時半、御廟法務所に集合し、祖廟にて法味言上及び記念撮影。続き、報恩閣へ移動し、午後一時四十分より理事会が開催された。

小林順光理事長が座長となり議題に沿って議事を進行。最初に事務局より人事案件として「監査欠員補充」「顧問推薦」について説明がなされ、監査として法華宗(本門流)福島泰樹師が選任、顧問に前理事長日蓮宗渡邊照敏師が推薦され、承認された。次に「平成二十八年度事業報告」「平成二十八年年度決算報告」について事務局より報告。決算報告では監査の遠藤文祥師より、監査結果が報告され、一同承認。引き続き「平成二十九年年度事業計画案」「平成二十九年年度予算案」を事務局より提案、一同承認。続いて、「京都門下連合会活動報告」が橋本一妙 京都門下連合会理事長より、「地方門連活動に関する報告」が佐藤哲夫 大阪門下懇話会理事長よりそれぞれ報告された。最後に事務局より「日蓮聖人御降誕八〇〇年慶讃事業実行委員会」発足について説明がなされ、現在、機関紙編集委員に就任している各師を執行委員会委員に任命することが承認された。午後三時に閉会し、その後、会場を下部ホテルに移し、午後六時より各派教団による懇親会が開催され、親睦と活発な意見交換がなされた。

「御降誕八〇〇年慶讃事業実行委員会」発足

平成二十九年七月七日(金)に開催された身延理事会において、御降誕八〇〇年慶讃事業実行委員会が正式に発足し、平成三十三年二月十六日の御正當に向け、更なる活動強化へと繋がることとなった。

委員には現在、準備委員会として位置づけられる機関紙編集委員会の委員二十三名が推薦・承認され、平成二十九年九月六日付けで就任した。機関紙編集委員会が慶讃事業実行委員会を

京都日蓮聖人門下連合会事業開催

去る、二月十六日(木)日蓮宗本山妙覺寺にて京門連総会を開催し今年度の理事、役員、事業予定、予算執行について報告され承認を受けた。

総会後、祖師堂に於いて法華宗(陣門流)本禪寺福井日進親下による「報恩」の講題で講話があり、信解品や聖愚問答抄、報恩抄を読み解かれ、四恩、知恩を知り、何ごとも報恩感謝が大切であると、やさしく解説された。引き続き、及川日周親下を大導師に第七九六回の宗祖降誕会法要が奉行され、僧俗約百名は寒さ厳しい中にもかかわらず宗祖御報恩のお題目を熱心にお唱えした。

上田日猷親下御晋山

四月一日(土)法華宗真門流本隆寺に於いて第七七世貫主上田日猷親下(六十六歳)の晋山奉告式が奉行された。日猷親下は姫路市妙行寺より御晋山され、今後は降誕八〇〇年慶讃事業である本堂大嘗禱に着手される。式典後は京都プライベートホテルに移動し御来賓、招待客

兼ねることにより、より一層の連携と活動が期待されることとなった。今回就任した委員は左記の通りである。

立教開宗会

四月二十八日(金)横川定光院にて第七六五回立教開宗会を、立本寺上田日猷親下大導師のもと奉行された。百八十名の参拝団は、十二年比叡山御遊学の宗祖を偲び、更なる法華経の広宣流布を祈り力強くお題目を比叡の山々、華芳谷に響き渡らせた。

大阪日蓮聖人門下懇話会事業開催

第二十一回由緒寺院巡拝バスツアー

檀信徒と共に京都・大阪近郊の日蓮聖人所縁の寺院を巡るバスツアーは、本年三月二十八日に行われました。顕本法華宗総本山 妙満寺本堂で法味言上の後、要を得た説明を聞きながら、「雪の庭」「安珍・清姫伝説の鐘」等々を見学しました。午後は銀閣寺を見学。外国人の多さに驚きながら、参道で京都土産を買い帰途につきました。

第三十回総会

日蓮本宗・圓頓寺に於いて六月二日開催され、議事は、満場一致で承認されました。総会に先立ち、国柱会・田中いく子氏から、「国柱会と宮沢賢治」の講演がありました。法華信仰に篤い宮沢賢治とその人柄をお話し頂きました。



▼御遷化

年月日	氏名	宗派	門連役職
平成二九・一・二六	川手日成	本門佛立宗	門連役職
平成二九・三・一	川手日廣	本門佛立宗	常任理事

▼人事(事務局への連絡日を含む)

年月日	氏名	宗派	門連役職
平成二九・三・一〇	別所日山	本門法華宗	監査
平成二九・四・一	田仲日紘	法華宗(真門流)	顧問
平成二九・五・九	江口淳節	本門佛立宗	理事
平成二九・五・一〇	養田清文	本門佛立宗	常任理事
平成二九・五・一三	小西日遠	法華宗(本門流)	顧問
平成二九・七・七	渡邊照敏	日蓮宗	顧問
平成二九・七・七	福島泰樹	法華宗(本門流)	監査
平成二九・九・九	坂本法保	法華宗(真門流)	理事

全国日蓮宗本山会監修
日蓮宗

本山



頒価 3,240円
【税込・送料別】

「全国五十七本山めぐり」完全対応・必携の書。



日蓮宗五十七本山の伝記と歴史の旅案内。幾星霜、信仰を支えてきた緑に映える伽藍の偉容、日蓮聖人とお弟子たちの歴史への旅案内。

ご家族と共に子孫に伝える信仰の証

日蓮宗全国五十七箇本山 御朱印めぐりセット

日蓮宗の本山五十七箇寺を巡り五十七紙の貫首さまの御首題に御朱印を拜受し巡る生涯忘れ得ぬ感動の旅を



※セット内容イメージ

監修 日蓮宗全国本山会

【セット内容】(箱入り)
57本山貫首さまの御首題 57紙+白紙3枚 計60枚
御首題携行帳 3帳(予備2帳)
参拝案内カード 57種(最新地図・交通情報)
手引書 1冊
※参拝のワンポイント・団参コース等の案内

頒価 2,160円(税込・送料別)



各派・教団・短信

● 五月二十一日、マレーシア・ベナン島で宗祖降誕八〇〇年慶讃アジア布教拠点記念法要が内野日総管長現下大導師のもと営まれた。

● 八月十五日、千代田区の千鳥ヶ淵戦没者墓苑で「千鳥ヶ淵戦没者追善供養並世界立正平和祈願法要」が小林順光宗務総長導師のもと営まれた。

● 九月一日、防災アプリ「全国避難所ガイド」に約千ヶ寺の宗門寺院情報が掲載された。宗祖降誕八〇〇年事業の一環である「災害支援いのちの井戸」プロジェクトは、生活用水としての井戸水の提供や帰宅困難者の支援、一時避難場所の提供をするものであり、今後も避難所登録を随時募集し、災害支援の輪を広めていく。

日蓮宗

◆ 五月二十一日、マレーシア・ベナン島で宗祖降誕八〇〇年慶讃アジア布教拠点記念法要が内野日総管長現下大導師のもと営まれた。

● 八月十五日、千代田区の千鳥ヶ淵戦没者墓苑で「千鳥ヶ淵戦没者追善供養並世界立正平和祈願法要」が小林順光宗務総長導師のもと営まれた。

● 九月一日、防災アプリ「全国避難所ガイド」に約千ヶ寺の宗門寺院情報が掲載された。宗祖降誕八〇〇年事業の一環である「災害支援いのちの井戸」プロジェクトは、生活用水としての井戸水の提供や帰宅困難者の支援、一時避難場所の提供をするものであり、今後も避難所登録を随時募集し、災害支援の輪を広めていく。

法華宗(本門流)

◆ 四月十日、戦没者慰霊法要奉修(千鳥ヶ淵墓苑)。

● 四月十一日、応永二十七年(二四二〇)に創立され、現在まで続く「興隆学林専門学校」の入学式が行われた(宗学科五名、宗学研究科三名入学)。

● 五月十三日、京都市 大本山本能寺貫首 桃井日英現下が法華宗第百三十六代管長に就任し、同本山において推戴式が行われた。

● 五月十四日、松平金岳公子第百五十遠忌大法要厳修(玉藻公園内「披雲閣」)。

● 五月二十三(二十五日)、第七十二次宗会開催。

● 五月三十(三十一日)、平成二十九年宗務所長会開催。

● 十二月二日、当宗に縁のある方々へ「良縁成就」の場を積極的に協力

顕本法華宗

◆ 三月三日・四日の二日間

● 三月三日・四日の二日間、京都市・総本山妙満寺において、第七十二次定期宗会が開催された。平成二十八年宗務事業報告及び決算、平成二十九年宗務事業計画及び予算案が承認された。

● 四月十四日、千葉県山武郡九十九里町妙覚寺において、東部教区連合会主催による先師報恩法要が厳修された。法要後、平成二十九年定期宗会が開催された。

● 五月二十日・二十一日の二日間にわたり、京都・総本山妙満寺において、山本日恵現下大導師のもと、春季報恩大法要並びに熊本地震物故者一周忌・東日本大震災物故者第七回忌・阪神淡路大震災物故者第二十三回忌追悼法要が厳修された。また、島田幸晴宗務総長導師のもと「安珍清姫の鐘」鐘供養が奉修された。鐘供養後、浪曲師・天中軒涼月師による豊田佐吉翁生誕百五十年記念「発明王・豊田佐吉」の公演奉納が行われた。また、特別別座として広島市中区小町本照寺の婦人奉告法要が奉修され、住職・寛義就師が誓願文を奉呈された。

● 七月二十五日(二十八日)の三泊四日にわたり、総本山妙満寺において「第五十三回・顕本青少年錬成会」を開催、四十八名の小中学生が参加した。

● 八月二十五日(九月八日)の十五日間にわたり、総本山妙満寺において、平成二十八年度妙塔学林(本科・研修科)を開講。

法華宗(陣門流)

◆ 二月三日、総本山本成寺(新潟県三条市)で「節分大祈願会」が、本成寺貫首・門谷日悠現下導師により厳修された。今年も午後一時と三時の祈願終了後には恒例の鬼踊り、豆まきが行われ参詣者を楽しませた。

● 三月九日・十日の二日間、第百二十七次定期宗会が宗務院にて開催された。

● 四月二十七日、宗務所長会が宗務院にて開催された。

● 五月十二日、霊跡別院蓮通寺(静岡県伊東市)にて「伊豆法難会」が、中野日仁山主導師により厳修された。

本門佛立宗

◆ 現在、京都佛立寺

● 現在、京都佛立寺に活動した長松清風・日扇聖人の遺品をはじめ、自身の生涯をイラスト入りでつづった「清風一代記略図」また仏教の教えを絵で描いた「俗画」として「草草」なども収録。そして今回特別に、京都市歴史資料館協力により幕末当時の京都の古地図が付録として収録されている。さらに、本邦初公開・初収録の書状「高松御状」は、本門佛立講の開講に大きな影響を与えた高松藩・松平頼政公から送られた直筆のもの。また幕末の志士・坂本龍馬との接点となる海援隊出版の「閑愁録(日扇聖人所持)」の全編・解説など盛りだくさんな内容。当時と今を比べながら見ごたえのある、たのしい一冊となっている。

「長松清風展」展示図録はフルカラー三百三十頁、DVD付きで税込五千五百円。京都佛立ミュージアムはもちろん、ミュージアムのホームページ、ショップサイトからも購入できる。

法華宗(真門流)

◆ 一月十日、総本山本隆寺大改修工事着工。

● 二月十九日、総本山第百六世田中日慈現下退山報告法要厳修。

● 三月二十八日(三十日)、本隆寺に於いて、第三十四回僧風林・鍊成道場開催。

● 四月一日、総本山第百七世上田日猷現下晋山報告法要厳修。

● 四月四日(二十三日)、本隆寺に於いて、春季学林開講。

● 四月十一日(十三日)、本隆寺に於いて、春季大法会厳修。

● 五月十七日(十八日)、第三教区第三十三回教区研修会開催。

● 五月二十一日、第四教区第三十三回合掌運動北海道大会開催。

● 五月二十三日(二十四日)、第一教区第三十六回檀信徒の集い開催。

● 五月二十五日(二十六日)、本隆寺

本門法華宗

◆ 三月十日、第百七回本門法華宗会

● 三月十日、第百七回本門法華宗会が大本山妙蓮寺卯木講堂において開催。管長に別所日山大本山妙蓮寺貫首を推戴。

● 四月十二日、大本山妙蓮寺(別所日山貫首)において春季大法要並びに金岳公子第百五十遠忌法要を奉修。

● 本門法華宗学院(渡辺日恩学院長)第百六十回教学講習会を三月二十四・二十五日、第百六十一回同講習会を六月十九・二十日、卯木講堂にて開催。

● 布教誌「生きる」第六十八号、信報「信行」第百八十七号を七月一日に発行。

国柱会

◆ 一月一日、元

● 一月一日、元拝賀式。神酒拝賀式。賽主先生以下有志明治神宮参拝。七日、昭和天皇祭。式後、若杉日出雄講師・原田義彦理事長以下中央有志による、昭和天皇武蔵野御陵参拝。八日、国柱会近畿地方連合会新年会(於、天業館)に賽主先生御出席。十四日、妙宗大靈廟各局輪番常勤給仕(十五日迄)中央同志新年大会(於、本部講堂)開催。十七日、恩師忌。本部教職員常勤給仕。二十五日、日蓮聖人門下連合会機関紙編集委員会(於、日蓮宗宗務院)に、森山真治編集委員・的場春奈編集委員出席。

● 二月一日、月旦大因禱。十一日、紀元節慶讃法要。十五日、釈尊涅槃会報恩大法要。午後、「文藝春秋」編集部次長・水上様他二名、賽主先生インタビューの為本部ご来園。十六日、日蓮聖人降誕会慶讃大法要。御

京都門下連合会

◆ 一月二十六日(木)

● 一月二十六日(木)新年理事会(本能寺文化会館)会長伊丹日章現下、副会長福井日進現下、理事長橋本一妙師、副理事長赤塚高明師各聖就任。

● 同日、京都門下新任役員、事務局新年祝賀会(本能寺文化会館)。

● 二月十六日(木)総会・御降誕会(日蓮宗本山妙満寺)導師妙覺寺貫首及川日周現下、講師本禪寺貫首福井日進現下。

● 三月九日(木)理事会(日蓮宗宗務所)立教開宗会の件。

● 四月一日(土)法華宗(真門流)総本山上田日猷現下晋山式。

● 四月二十八日(金)立教開宗会(比叡山横川定光院)導師立本寺貫首上田日瑞現下、講師三品亮徹師、観光参拝、琵琶湖彦根根の多景島見塔寺。

● 五月三十一日(水)宗祖降誕事業、企画運営PT会議(日蓮宗宗務所)。

● 六月十二日(月)門下本山会前期主伴会、当番法華宗(陣門流)本山本禪寺。

● 六月十四日(水)理事会(日蓮宗宗務所)第五十三回夏季大会の件。

● 七月七日(金)身延理事会(身延山久遠寺)正副理事長出席。

● 八月二十六日(土)第五十三回夏季大会(本能寺文化会館)講師及川日周現下(本山妙覺寺貫首)講題「信」、望月真澄先生(身延山大学仏教学部)講題「日蓮聖人の関西御遊学」、奥村洋史様(京都南座前レストラン菊水社長)講題「人間力」。

● 同日、理事会(本能寺文化会館)お会式の件。

● 十月八日(日)お会式(日蓮宗大本山本因寺)導師本因寺貫首伊藤日慈現下、講師本隆寺貫首上田日猷現下。

● 十月二十五日(水)全門連京都理事會(日蓮宗本山本満寺)。

● 十一月五日(日)本門法華宗大本山妙蓮寺別所日山現下晋山式。

● 十二月十九日(火)理事会(レストラン菊水)行事報告、会計報告の件。

● 十二月二十二日(金)門下本山会主伴会、当番日蓮宗本山本満寺。(橋本一妙)

日蓮聖人門下連合会

◆ 目的

● 本会は日蓮聖人の理想を実現するため、祖廟を中心として門下各派及び教団並びに地方門下連合会の連絡、協力、団結を教化することを目的とする。

● 事業
本会は前条の目的を達成するため、左の事業を行う。

- 1、祖廟護持の組織強化
- 2、教育事業の提携
- 3、布教の連合強化
- 4、懇談会・研究会・講演会等の開催
- 5、各種出版物の刊行
- 6、海外布教の提携及び交流
- 7、対外的な各種の運動
- 8、その他

加盟団体

- 日蓮宗 法華宗(本門流)
- 顕本法華宗 法華宗(陣門流)
- 本門佛立宗 日蓮本宗
- 法華宗(真門流) 本門法華宗
- 国柱会 日本山妙法寺
- 京都門下連合会